

社会性報告

社会性報告の目標と実績

クボタグループでは、さまざまなステークホルダーの皆様の満足向上を図り、企業価値を高める活動を、それぞれのテーマごとにPDCAサイクルをまわして推進しています。

2020年度の社会性報告の総括と2021年度の重点課題および中期目標

マテリアリティ	大項目	主な活動テーマ	Plan	Do	左記の対象範囲
			2020年度の重点課題	2020年度の活動実績	
お客様	お客様満足への取り組み	お客様満足につながる品質・サービス	●検査自動化システムを順次導入する	●検査自動化システムを8事業所に導入した	国内グループ全体
			●ICT活用と品質保証機能を強化する	●品質問題の早期発見・素早い対応に、データとデジタル技術を活用し品質保証の業務プロセスの再構築に着手し、建設機械事業部門から試行開始した	海外含むグループ全体
			●回答の精度・スピード向上によるお客様満足向上	●「回答の納得率」99.2%（当社設定基準に基づく）	(株)クボタのみ
			●FAQの閲覧率を高めるとともに解決率を向上させる	●国内農機ホームページにて提供する「FAQの閲覧件数」は前年比で減少。解決率は51.2%、前年比2.4ポイント向上	国内グループ全体
取引先	CSR調達の取り組み	CSR調達の取り組み	●モノづくり改善活動のグローバル展開をさらに拡大し、世界最適調達を推進する	●調達担当者と取引先とが一体となり、KPSに基づいた改善活動を推進し、相互のモノづくり改善力の向上活動をグローバルに展開	(株)クボタ(機械部門) 海外グループ(機械部門)
			●取引先でのCSR体制の状況を把握し、改善へとつなげていく	●CSR調達チェックシートによる自己診断を国内外主要取引先に発信	(株)クボタ(機械部門)
			●省エネ・リサイクルなど環境負荷低減や環境に配慮した活動に対する表彰を国内外に展開、実施を拡大していく	●環境に配慮した生産活動を推進した取引先表彰を実施 ●表彰制度を海外グループに拡大した	(株)クボタ(機械部門) 海外グループ(機械部門)
			●引き続き、調達取引先に紛争鉱物の取り組み方針を説明し、クボタグループが実施する調査活動への協力を要請する	●調達取引先に取り組み方針を説明し、クボタグループが実施する調査活動への協力を要請した ●「紛争鉱物の調達方針」を定めていただくようお願いした ●サプライヤーから受領したCMT情報の検証・精度向上を図った	海外含むグループ全体
			●IRイベント・面談の継続実施を通じて、株主や投資家の皆様の要望に応える幅広い情報の発信や建設的な対話を推進する ●内閣府令の改正に則り、有価証券報告書での情報開示の充実を図る	●株主や投資家の皆様の事業理解促進のため、面談による積極的な対話や事業説明会(1月:水・環境事業)を実施した ●内閣府令の改正に則り、有価証券報告書での情報開示を充実させた ●決算補足説明資料の開示内容を拡充したほか、新型コロナウイルスの感染拡大による当社グループへの影響を具体的に開示することにより、当社の事業環境に関する理解の促進を図った	海外含むグループ全体
株主等	適時適切な情報発信	適時適切な情報発信	●新規株主の継続した創出活動の実施	●株主向け施設見学会を実施	(株)クボタのみ
			●既存株主の長期保有化のための施策の実施	●投資家向け会社説明会をオンラインで実施	
			●デジタルも活用し、分かりやすくタイムリーな情報発信による理解促進とブランド訴求	●企業WEBサイト(グローバル・日本)の全面リニューアルを行い、特に「イノベーション」「サステナビリティ」の情報発信強化に取り組んだ	
			●国内外グループ全体で、一貫性のあるブランド強化を図る	●ブランドガバナンスを横断的組織として取り組み、一貫性あるブランド強化に注力	海外含むグループ全体
			●設備異常そのものの再発防止取り組み活動の継続実施	●発生した設備の異常に對し、異常の「見える化」による再発防止を進め、異常そのものを無くしていくことによる災害の撲滅を図る活動を実施	国内グループ全体
従業員	働きがいと活気ある職場づくりの実現に向けて	一人一人に安全な職場づくり	●「設備本質安全化ガイドライン」に基づく安全対策の継続推進	●「設備本質安全化ガイドライン」に基づき、ありたい姿であるレベルIIに達していない既存設備については、すべてレベルIIにする実行計画(2018年度～2022年度)の達成に向けた活動を推進。新規設備については、2017年度に改訂した「機械安全のリスクアセスメント実施要領」により、導入時から、より高いレベルであるレベルIIとなるような運用を推進	国内グループ6社 海外グループ16社
			●労使委員会での情報共有・協議を継続する	●各種労使委員会(中央、事業所)にて現状の課題等について情報共有・協議を実施した ・ワークライフバランスの拡充(年次有給休暇の取得推進等)や職場環境の改善等について協議し取り組みを推進した ・労働関係法令の改正等への対応を協議し施策の検討を行い対応を推進した	(株)クボタのみ
		生き生きとした職場づくり	●クボタグループで「クボタ心の健康づくり活動計画」に基づく具体策を推進する ・職場環境改善への取り組みを強化する	●「ストレスチェック制度」を活用した個人面談フォローの徹底と高ストレス職場の職場改善に取り組む ・メンタルヘルス研修の教育内容の標準化と従業員の知識レベル向上	国内グループ全体
			●健康クボタ21(第2次)を継続して推進する ・年間テーマ「禁煙」を中心に健康づくりイベントの実施 ●がん対策強化を推進 ・すべての従業員を対象にした胃がんリスク検査の実施	・コロナ禍でありながらも各拠点毎工夫をし「禁煙」を中心とした健康づくりイベントを実施 ・すべての従業員を対象とした胃がんリスク検査を実施	国内グループ全体
			●国内のハラスマント(セクハラ・マタハラ・パワハラやLGBTに対する嫌がらせ)予防と相談窓口機能充実による解決力の向上	・法改正対応としてハラスマント防止規程を制定し、グループ会社にも情報として展開 ・販売会社を含めた国内のハラスマント(パワハラ・セクハラ・マタハラ・ケアハラやLGBTに対する嫌がらせ)の予防・解決に繋がる啓発活動を継続実施	国内グループ全体
		人権の尊重	●人権の国際基準をふまえた取り組みを推進する	・海外拠点の人権状況を把握し、英国現代奴隸法へのステートメントを公表するなどの活動を行った	海外含むグループ全体
			●女性社員育成の推進 ●女性管理職候補者研修の継続実施 ●ダイバーシティ・マネジメントの深耕 ●「女性活躍推進法」及び「次世代育成支援対策推進法」に基づく一般事業主行動計画の推進 ●ダイバーシティ領域の拡大	●女性リーダー育成研修の実施(性別によらないリーダー研修へ移行) ●配偶者の転勤帯同による離職防止のため、Iターン、休業、リ・エントリー制度を新設 ●配偶者の定義に「同性パートナー・内縁関係」を含め、社内制度及び福利厚生制度の利用対象を拡大した ●従業員の育児休暇取得率の拡大 ●クボタグループ全体での障がい者雇用の拡大	(株)クボタのみ
			●グローバル経営を推進するために不可欠な人事施策を、引き続き検討・実行していく	●北米における次世代幹部研修、欧州地域マネージャー研修の継続実施 ●海外グループ会社の管理監督者候補者や技術者の育成を目的とした、クボタ国内拠点へのトレーニー受入の拡充	海外含むグループ全体
地域	社会貢献活動	グローバル化に対応した人事施策の推進	●行動規範をベースとしたeラーニングの実施など ●SDGs浸透と絡めた企業理念浸透活動の推進	●海外語学研修制度の継続(北米・フィリピン派遣語学強化研修*2020/3～停止中) ●海外トレーニング制度の拡充およびハーバードビジネススクール派遣プログラムの継続 ●行動規範の読み合わせ会を実施した(国内グループ全体)	海外グループ会社 (株)クボタのみ
			●国内外の活動実績集計システムを次年度レポートWeb版で公開 ●海外拠点が取り組む活動をサポートする	●企業理念の浸透は入社者教育や社内報を通じて実施した	国内グループ全体
			●「食料・水・環境」のテーマを意識しながら、継続的にクボタらしさのある復興支援活動を推進する	●システムはセキュリティ上導入しなかったが、グローバルで社会貢献を集約し、Webサイト情報発信強化につなげた ●海外拠点の担当者との意見交換 ●令和2年7月の豪雨災害と、コロナ禍に対しクボタグループとしてできる復興支援を世界各地で展開した	海外含むグループ全体
		被災地の再生・復興に向けて			国内グループ全体

〈当該項目に関連するSDGs〉



マテリアリティ	大項目	主な活動テーマ	Check	Act	Plan
			自己評価	2021年度の重点課題	中期目標
お客様	お客様満足への取り組み	お客様満足につながる品質・サービス	○	●検査自動化システムについては、活動を継続する	●品質保証に関する規範意識の強化・ガバナンスの見直し
			○	●北米の販売会社と共同で建設機械事業部門での早期発見の仕組みを構築し、さらに他機種への展開を図る	●当たり前品質の向上に注力する。「早期発見・素早い対応」「再発防止」「未然防止」3つのアプローチにより当たり前品質の向上を図る
			○	●お客様の声(VOC)を反映した既存FAQの内容改善と新規登録を追加	●お客様の声を反映した問合せ窓口業務の改善
			○	●サービス・技術部門との連携強化、案件管理の強化により、高い「回答の納得率」を維持	●点検整備を含むお客様ニーズへの対応力強化
取引先	CSR調達の取り組み	CSR調達の取り組み	○	●モノづくり改善活動のグローバル展開をさらに拡大し、世界最適調達を推進する ●取引先でのCSR体制の状況を把握し、改善へつなげていく ●省エネ・リサイクルなど環境負荷低減や環境に配慮した活動に対する表彰を国内外に展開、実施を拡大していく ●引き続き、調達取引先に紛争鉱物の取り組み方針を説明し、クボタグループが実施する調査活動への協力を要請する	●クボタグループ各社の調達先でのガイドライン趣旨の実践を促し、サプライチェーンを通じた、CSR調達を浸透させる
株主等	適時適切な情報発信	適時適切な情報発信	○	●IRイベント・面談の継続実施を通じて、株主や投資家の皆様の要望に応えうる幅広い情報の発信や建設的な対話を推進する ●内閣府令の改正に則り、有価証券報告書での情報開示の充実を図る ●長期ビジョン及び中期経営計画について積極的な情報発信を行う	●面談やIRイベントなどを通じた中・長期的な企業価値向上に資するステークホルダーとの対話の継続的な実施 ●企業の実態を反映した適正な株価の形成をめざしたIR活動の推進
			○	●新規株主の創出活動を継続して実施 ●既存株主の長期保有化のための施策を継続実施	●適時適切な情報発信によるステークホルダーの皆様からの信頼の獲得と安定株主層の拡大
			○	●長期ビジョン「GMB2030」や中期経営計画2025を、より多くのステークホルダーの方々に理解いただくために、Webサイトやあらゆる場面を通じて情報発信していく ●クボタの事業・企業姿勢を、クボタグループ全体で理解いただくためのブランドガバナンスを強化していく	●中・長期的視点でのブランド強化と各地域やニーズ、ステークホルダーに応じた統合型コミュニケーションの強化
従業員	働きがいと活気ある職場づくりの実現に向けて	一人一人に安全な職場づくり	○	●設備異常そのものの再発防止取り組み活動の継続実施 ●「設備本質安全化ガイドライン」に基づく安全対策の継続推進	●クボタグループ全員がすべての業務において安全最優先で行動し、既存設備も新規設備も設備本質安全化ガイドラインに基づく対策を講じることで「機械装置による挟まれ・巻き込まれなどの重大災害につながる可能性のある災害ゼロ」をめざす
			○	●労使委員会での情報共有・協議を継続する	●クボタグループ全員が健やかで心豊かに生活できる、活力ある職場環境の実現をめざす
		生き生きとした職場づくり	○	●クボタグループで「心の健康づくり活動計画」に基づく具体策を継続推進	
			○	●健康クボタ21(第2次)を継続実施し、各拠点の課題に沿った健康づくり活動を推進	
			○	●がん対策強化を継続、より受診しやすい集団健診の実施	
		人権の尊重	○	●人権研修等の機会を通じてハラスマント予防活動を継続的に実施	●海外を含めクボタグループとして人権啓発活動の浸透を図る
			○	●海外拠点を対象とした監査、教育などの体制整備	
		ダイバーシティの推進	○	●さらなる両立支援制度の検討 ●クボタグループ一体となったさらなる障がい者雇用の推進 ●LGBT関連施策の検討 ●外国人従業員に対する施策検討	●ダイバーシティ・マネジメント推進の継続 (性別・国籍・年齢などに関係なく、従業員の能力・意欲を引き出す企業風土醸成・施策を検討する)
		グローバル化に対応した人事施策の推進	○	●グローバル経営を推進するために不可欠な人事施策を、引き続き、検討・実行していく	●北米における次世代幹部研修、欧州地域マネージャー研修の継続実施と、海外グループ会社の管理監督者候補者や技術者の育成を目的とした、クボタ国内拠点へのトレーニー受入の拡充 ●海外語学研修制度の継続(海外留学派遣、北米・フィリピン語学強化研修、海外企業インターンシップ等) ●海外トレーニング制度の拡充およびハーバードビジネススクール派遣プログラムの継続
			○	●行動規範をベースとした、eラーニングの実施など ●SDGs推進と絡めた企業理念浸透活動の推進	●企業理念や行動規範をベースとした、CSRやコンプライアンスのマインドの醸成
地域	社会貢献活動	国際社会・地域社会への貢献	△	●ESG経営強化を踏まえ、クボタらしい社会貢献活動のさらなる強化につながる方針・体制と情報発信の在り方を検討する	●グローバルレベルで、各地域に根差したクボタらしい社会貢献活動や復興支援活動の強化
		被災地の再生・復興に向けて	○	●「食料・水・環境」のテーマを意識しながら、継続的にクボタしさのある復興支援活動を推進する	